

第一次琴浦町総合計画

基本構想

平成19年 3 月

琴 浦 町

はじめに

琴浦町は、2004年（平成16年）9月1日に旧東伯町・旧赤碕町の2町が対等合併し、新しく琴浦町として誕生しました。合併に伴って策定した「新町まちづくり計画」の基本的指針をもとに「自然と歴史が調和した心豊かなふるさと未来」を琴浦町の将来像として定めました。

21世紀の日本は少子化と高齢化という二つの大きな変化と急速な高度情報化にともなう社会と経済のシステムの変化の中で人々の生き方、価値観が多様化しています。そのような中で、三位一体改革と市町村合併の推進という方向性で、地方分権が進められています。

こうした大きな社会変動のうねりの中で、平成の大合併という試練を乗り越えて誕生した琴浦町にとって「第一次琴浦町総合計画」は、この地域に住むすべての住民の未来を左右する、極めて重要な計画です。

各種施設の統廃合、新庁舎の建設、下水道の整備など十分な検討と慎重な展開が必要であり、行財政改革、地域経済振興対策、情報化対策、健康と福祉対策の充実、歴史文化の継承と創造など、私たちが克服、解決すべき課題が多岐にわたり山積されています。琴浦町は、地方交付税の見直しなど国の施策等による財政への影響は大きく深刻な状況にあります。この限られた財源の中でこれらの課題に向って、すべての住民が積極的に参画、協働し、「新しいふるさと」を自らの手で、創り上げる喜びを共有することが、今後の琴浦町のあるべき姿であると思います。

「第一次琴浦町総合計画」を策定するにあたり、町民の主体的参画による協働のまちづくりと行財政運営の自立を目指すことを明確に打ち出しました。

おわりに、本計画の策定にあたり慎重にご審議いただいた総合計画審議会委員の方をはじめ、行政地区座談会、町民ニーズ調査、パブリックコメントなどを通じて貴重なご意見をいただきました皆様に対して、心から感謝とお礼を申し上げます。

平成19年3月

琴浦町長 田 中 満 雄